

第12回総務文教常任委員会 要点記録

開閉会日時	平成30年12月13日(木曜日)			開会	10:00	会議場所	別海町議会 委員会室1		
				閉会	11:31				
委員の出欠	1 番	小椋 哲也	出席	5 番	松壽 孝雄	出席	6 番	森本 一夫	出席
	8 番	西原 浩	出席	10 番	小林 敏之	出席			
出席説明員	総務部長	竹中 仁	教育部長	山田 一志	総務部次長	今野 健一	総合政策課長	佐々木栄典	
	教育部次長	石川 誠	総務課長	今野 健一	総合政策課長	佐々木栄典	防災交通課長	麻郷地 聡	
	財政課長	寺尾真太郎	税務課長	宮本 栄一	学務課長	入倉 伸顕	生涯学習課長他	石川 誠	
	西春別支所長	田村 康行	尾岱沼支所長	福原 義人	中央公民館長	内山 宏	西公民館長	田村 康行	
	生涯学習課長他	石川 誠	給食センター長	入倉 伸顕	東公民館長	福原 義人	総務課主幹	齋藤 陽	
	西公民館長	田村 康行	選挙管理委員会主査	池田 大海	総務課主幹	皆川 学	総合政策課主幹	皆川 学	
	総務課主幹	齋藤 陽	総務課主査	山田 哲哉	財政課主幹	角川 具哉	税務課主幹	松田 勝広	
	税務課主幹	松田 勝広	総務課主査	山田 哲哉	学務課主幹	谷村 将志	生涯学習課主幹	佐々木いずみ	
	生涯学習課主幹	佐々木いずみ	総務課主査	山田 哲哉	総務課主査	池田 大海	総合政策課主査	大森 圭介	
	総合政策課主査	大森 圭介	学務課主査	大森 圭介	学務課主査	佐藤 亮	学務課主査	大山 晋作	
	学務課主査	大山 晋作							
委員外の出席	議長	松原 政勝			傍聴者	0名			
事務局職員									

会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。
委員長 10番 小林	10:00 開会 開催概要説明 出席委員5名、欠席委員0名、委員外 議長1名、本日1日開催
委員長 10番 小林	開会あいさつ 【総務部に係る調査】
委員長 10番 小林	議事1 提出議案調査について
総務部長 竹中	概要説明
委員長 10番 小林	(1)平成30年度別海町一般会計補正予算について
総務部次長 今野	総務課所管分補正予算概要説明
総務課主査 池田	総務課所管分補正予算内容説明（一般寄付金及び二酸化炭素排出抑制対策事業補助金）
総務課主幹 齋藤	総務課所管分補正予算内容説明（給与費）
総合政策課主幹 皆川	総合政策課所管分補正予算内容説明（国有提供施設等所在市町村助成交付金、特定防衛施設周辺整備調製交付金ほか）
財政課主幹 角川	財政課所管分補正予算内容説明（財政調整基金繰入金、地域会館等管理経費ほか）
防災交通課主幹 深川	防災交通課所管分補正予算内容説明（車両管理費）
選挙管理委員会主査 池田	選挙管理委員会所管分補正予算内容説明（選挙費）
委員長 10番 小林	質疑
委員 8番 西原	① 給与費の会計間異動の詳細を。
	② 育児休業の詳細。
総務課主幹 齋藤	① 一般会計から病院会計へ1名、水道会計へ1名、介護サービス事業会計へ1名異動している。また、介護サービス会計から一般会計への異動もある。
	② 当初見込んでいなかった人数が5名。産前産後休暇が終わったあと、子が3歳になるまで取得可能。ただし、1歳になるまでは、共済組合からの手当金である。そのあとについては、半額となっている。
	① 一般会計から異動が生じるのは、どういう事情か。
	① 4月の人事異動となるので、予算要求時に見込めなかったため。

第12回総務文教常任委員会 要点記録

委員	1番	小椋	関連② 予算で見えていなかった5名なのか、当初見えていなかったのが5名であるのか。
総務課主幹		齋藤	関連② トータルでは現在6名。育児休業を前年度から引き続きという方もいるので、現段階で6名。
副委員長	6番	森本	期末手当が減、勤勉手当が増となっているが、通常は同時期に支給されるが、片方減額、片方増額というのは、どういう体系によるものか。
総務部次長		今野	勤勉手当は人事院勧告によるもの、期末手当は会計間異動によるものなどの事情があり、このような結果となっている。
副委員長	6番	森本	総務費寄付金が本目新設となっているが、以前はどの科目で収入としていたか。
総合政策課主幹		皆川	当初から見込んでいないため、科目新設となる。
財政課長		寺尾	通常目的基金であれば、基金のほうに積み立てているが、今回の寄付金は一般寄付金であるので、いままでも総務費寄付金として受けている。
副委員長	6番	森本	一般寄付金の関係で91万円補正増としているが、「見込める」という説明があったが、何をもって見込めるという根拠となるのか。
総務課主査		池田	11月末の実績で4件寄付があったので、今回補正した。
委員	1番	小椋	まちづくり補助金が減額されているが、近年の状況は。
総合政策課主査		大森	今年度は、前期で1件、昨年度は応募なし。近年は右肩下がり、低調。応募に係る基準や審査の過程などを見直して、皆さんに使いやすい補助制度にしたいと考えている。
委員	8番	西原	地域おこし協力隊について、現在の隊員が今後どのような状況になるのか。
総合政策課長		佐々木	現在の予定は、4月以降、民間企業に就職予定と聞いている。新しい協力隊を公募する予定。
委員	8番	西原	就職は、町内か町外か。
総合政策課長		佐々木	町内の企業と聞いている。
総務部次長		今野	(2)人事院勧告等に係る条例の一部改正について 議案第76号から議案第80号までの内容説明
委員長	10番	小林	質疑
委員	8番	西原	医師について旅費の一部が報酬になるということであるが、詳細を。
総務部次長		今野	支給されているのは、日当及び宿泊費となっているが、その部分について報酬に当たるとのことであったので、その部分を報酬にした。移動する交通費については、今後も旅費として支給する。
委員	8番	西原	日当というのは、移動日で到着して半日仕事しても1日になるのか。
総務部長		竹中	整理するが、旅費というのは、日当・宿泊費・交通費を合わせて旅費としている。一部の宿泊費と日当が報酬に当たっていると指摘されている。実態として、宿舎に泊まっていて、実費負担との乖離があったので指摘された。日当というのは、我々も議員の皆さんも半日で帰ってきて1日分の日当を支給している。委員が指摘しているのは、報酬の部分と思われるが、一部夕方帰ったり、夜を通しているなど、その勤務体系によって支出の基準を変えているようだが、基本的には一度診療に来ていただくと、2時で終わろうが、夕方までかかるが、1日分支給することを規則として規定している。
委員長	10番	小林	(3)その他
委員長	10番	小林	なし
委員長	10番	小林	議事2 その他
総合政策課長		佐々木	(1)第7次別海町総合計画（案）に係るパブリックコメントの実施について 内容説明
			<ul style="list-style-type: none"> ・ 閲覧場所の設置 ・ 意見提出は、5名、18件 ・ 閲覧者名簿に記載された方は53名 ・ 議会からの意見の取扱いについて

第12回総務文教常任委員会 要点記録

		・ 今後の予定について
委員長 10番 小林		質疑なし
委員長 10番 小林		(2)その他
		なし
		休憩 10:50
委員長 10番 小林		再開 11:00
		【教育委員会に係る調査】
委員長 小林		議事1 提出議案調査について
教育部長 山田		概要説明
委員長 10番 小林		(1)平成30年度別海町一般会計補正予算について
教育部長 山田		教育委員会補正予算概要説明
学務課長 入倉		学務課所管分補正予算内容説明（教育費国庫補助金、学校管理費ほか）
教育部次長 石川		生涯学習課所管分補正予算内容説明（教育費道支出金、体育施設等整備事業債、青少年教育費ほか）
		学校給食センター課所管分補正予算内容説明（学校給食費）
給食センター長 入倉		質疑なし
委員長 10番 小林		(2)その他
委員長 10番 小林		別海高等学校の支援策について概要説明
教育部長 山田		① 入学者選抜について内容説明
学務課主査 佐藤		② 寄宿施設の入居状況
		質疑なし
委員長 10番 小林		議事2 その他
		(4)その他
委員長 10番 小林		① 議会報告会で聴取した意見の対応について
副委員長 6番 森本		議会報告会で意見があった通学バスの助成制度について、購入してから助成するという現在の支援を最初から現金の手出しがない形に変更できないか。
学務課長 入倉		現在の仕組みは、4月から9月、10月から3月の年に2回に分けて支給するというものである。私たち学務課にも「いつ振り込まれるか」という問い合わせも来ているのが現状。先般、高校とも協議したので、主査から説明する。
学務課主査 佐藤		現在、高校と町教委と共同で事務を行っている。本支援制度も4年目を迎えているので、事務の効率化について協議を進めている。
教育部長 山田		副委員長の意見は現物支給化と理解しているが、現在、当方からは事務処理の円滑化や支給体制の見直しについて説明した。現物支給が求められていると理解はしている。
委員 8番 西原		意見を出した方の本音は現物支給。例えば、ひとり親であり収入が少ない中で、一時的にでも大きな負担をすることが大変であるので、現物支給の仕組みに変えられないか、我々委員会としては、その方向で調査をしているということである。
教育部長 山田		なりすましを危惧しているが、できることとしては、支給のタイミングを早めるとか、支給の回数を見直す、事務の簡素化などが考えられて、すぐ取りかかれることかと思うが、御指摘は理解したので、今後検討していきたい。
委員 8番 西原		入浴券を人に渡したりすることなどと同様な心配をされていると思うが、性善説に基づいたり、知恵を働かして検討して頂きたい。我々委員会としても自分たちで勉強して、また、意見を出させていきたい。
委員長 10番 小林		やはりひとり親の方などは、家賃、電気、ガスなど払ってやりくりすると、負担が大きいだろうし、極力早めに支給するというのも必要かもしれないので、検討してほしい。
教育部長 山田		貴重な意見をいただいたので、負担を少しでも解消できるような教育委員会内部で検討したい。

第12回総務文教常任委員会 要点記録

委員長	10番	小林	② 成人式について
教育部長		山田	内容説明
委員長	10番	小林	11:31 閉会